ボランティア・市民活動センターの基本理念

ボランティア・市民活動センターは、ボランティア・市民活動団体がお互いに、また 市内各種団体や行政とも幅広くつなぐネットワークをつくり、豊かな社会づくりの拠点 をつくることに設置する意義をもっています。

たくさんの人と活動をつなぐ、市民にとって必要とされるセンターとなるために次の 三点を目指していきます。

1 ネットワークの拠点として

今日のボランティア・市民活動は、多様化が進む一方で、様々な団体がネットワークをつくり、相互に交流しています。

これからは、活動地域や活動分野にとらわれず、幅広くボランティア・市民活動を支援する新たなネットワーク作りの拠点が必要です。

2 活動支援の拠点として

ボランティア・市民活動をさらに発展させるためには、団体の自己努力を期待するだけでなく、多様な支援により活動の実績を高めていく必要があります。

ボランティア・市民活動団体が活動してゆくうえで、単一団体では解決できない問題などを、中間支援団体の機能をもってサポートして解決に向けていきます。

3 協働の拠点として

青梅市では、〈青梅を健康で安心できるまち〉の創造を長期計画に定めています。ボランティア・市民活動団体が市民のために様々なサービスを提供したり、地域の課題を解決していくことは、市民の視点に立ってまちづくりを進めることが大変重要です。

青梅市にとってこのような、ボランティア・市民活動団体との協働の推進を図るとともに、分野に関わらず様々な活動を支援する新たな拠点を設けることが大きな意義を持ちます。

ボランティア・市民活動センターの目的

1 ボランティア・市民活動センター事業の基本的な考え方

ボランティア・市民活動センターは、市民が自発的な気持ちによって、地域のためになる活動を行うことを支援します。

そのために、ボランティア・市民活動センターは次の事業を主に行っていきます。

- ① ボランティア・市民活動に関する総合的な相談
- ② ボランティア・市民活動に係わる情報の収集および発信
- ③ ボランティア・市民活動団体および個人のネットワーク化
- ④ 地域のボランティア・市民活動ニーズのコーディネート
- ⑤ 行政とボランティア・市民活動団体および個人との協働の推進

2 ボランティア・市民活動センター事業展開のポイント

- ① 地縁組織が行う市民活動と一定の目的および分野をもとに行われる活動とは、常に 双方向性があり、それぞれをコーディネートしていくことにより役割を果たせるよう に努めます。
- ② ボランティア・市民活動へ参加するための支援と、活動を続けていくための支援を 両輪として事業をすすめます。
- ③ 福祉領域だけでない、人や情報のネットワークを充実させます。
- ④ 行政と連携をとり、行政と市民との協働のまちづくりにおけるパイプ役を担っていきます。

1 市民によるセンターの運営

青梅ボランティア・市民活動センター運営委員会

市民に開かれたセンター運営を図るためには、ボランティア・市民活動センター運営 委員会の役割が重要です。多様なジャンルの市民の参画を得て、事業の計画・実施・評価を行うことのできる体制づくりを進めることが必要です。

ボランティア・市民活動センター事業の計画や運営は運営委員会が担い、決定事項をもとに、事務局スタッフが事業に関する実務を担うようにしていきます。

青梅ボランティア・市民活動センター運営委員名簿

〈敬称略〉

区 分	氏 名	所 属 団 体
社会福祉協議会理事	田中 英一郎	青梅市社会福祉協議会理事
学識経験者	杉山 南見夫 ◎	青梅ライオンズクラブ
学校教育関係者	稲垣 文男	教育関係
ボランティア・市民活動	篠原 澄子	ボランティア・市民活動団体
関係者	大澤 眞人	環境関係
	白井 順子	子育て支援関係
	長谷部 俊介 〇	東京ボランティア・市民活動センター副所長
福祉施設	福田 和弘	青梅福祉作業所所長
自治会連合会	高橋 誠	青梅市自治会連合会
ボランティア関係行政職員	吉崎 龍男	市民活動推進課長

[◎]委員長、○副委員長

青梅ボランティア・市民活動センター運営委員会協議事項

口	日時・会場	内 容
第1回	令和2年5月	①2019年度青梅ボランティア・市民活動センター 事業報告
	拡大防止の観点より、書面で	②2020年度青梅ボランティア活動助成金申請書類 ③2019年度青梅ボランティア・市民活動センター 評価表
第2回	令和2年7月22日 (水) 午後2時~	①青梅ボランティア・市民活動センター登録団体継続の 審査について ②青梅ボランティア・市民活動センター登録団体新規の
	青梅市役所206会議室	審査について ③2019年度青梅ボランティア・市民活動センターの 評価結果について ④夏休み企画について ⑤コロナ禍におけるセンター運営状況について

第3回	令和2年9月4日(金)	①青梅おばけやしき
	午後2時~	②下半期青梅ボランティア・市民活動センター事業
	福祉センター	
第4回	令和2年12月4日(金)	①青梅ボランティア・市民活動センター登録団体継続の審
	午後2時~	査について
	福祉センター第6集会室	②2020年度上半期青梅ボランティア・市民活動センタ
		一事業報告
		③2020年度下半期青梅ボランティア・市民活動センタ
		一事業予定
		④Zoom講座 「オンライン会議を体験してみよう」 開催報告
第5回	令和3年2月	①2021年度青梅ボランティア・市民活動センター事業
		計画
	※新型コロナウイルス感染	②下半期実施事業について
	拡大防止の観点より、書面で	・お~ちゃんカレンダー
	開催	・お~チャンネル解説、動画配信
		③2020年度ボランティア・市民活動団体全体会議につ
		いて

お~ちゃんフェスタ2020 ボランティア・市民活動センター運営委員企画

※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、お~ちゃんフェスタ2020中止

2 情報の充実

ボランティア・市民活動センター事業に市民の参加を得るために、ホームページや社協だより「お元気ですか」の活用を通じて、積極的な広報活動を展開した。

広報おうめ、マスコミ・報道機関へも情報の発信を働きかけた。

①ボランティア・市民活動の相談

ボランティア・市民活動や地域活動に関する相談を受け付けた。相談内容に応じて、情報 提供、課題解決のサポート、関係機関等につなげた。_____

相談内容 • 件数

内 容	件数
協力依頼	18
ボランティア情報希望	180
ボランティア情報提供	4 0
ボランティア希望	3 6



ボランティア依頼	4 4
運営相談	2
お~ちゃん出演依頼	1
いきいきサービス	8 5 3
学習サポート	2 3 9
その他	1 2 4
合 計	1,537

2019年度は1,555件



②ボランティア・市民活動センター来所者

月	来場者数(名)	開館日数(日)
4月	2 4 6	2 3
5月	1 4 6	2 0
6月	2 3 0	2 4
7月	421	2 4
8月	3 1 4	2 1
9月	476	2 2
10月	467	2 4
11月	3 8 2	1 9
12月	3 6 5	2 1
1月	282	2 1
2月	269	1 8
3月	4 4 4	2 4
合 計	4, 042	261



1日平均来所者15名(2019年度は1日平均来所者21名)

③ホームページの充実

ボランティア・市民活動センターのホームページで、多くの方へ情報発信に努めた。 アクセス件数: 30,842

④市民活動情報コーナーの充実

パソコンでボランティア・市民活動情報が高速で気軽にネット検索でき、常に最新の情報 を収集・整理し各種情報の充実に努めた。

また、パネル(ボランティア・市民活動の写真を多数使用)を作成した。

⑤市民活動センター情報紙の発行

社協だより「お元気ですか」※ 1ページ 4回

※社協だより「お元気ですか」の8ページ目はセンターの企画・編集

⑥ボランティア・市民活動センター登録団体

計70団体(登録辞退2団体・新規2団体) (2019年度は70団体)

	団体・新規2団体) (2019年度は70団体)	
いのちを考える会・青梅	幾代会	
うぐいすの会	うたごえ・かなりあ	
青梅いとでんわ	青梅・奥多摩更生保護女性会	
青梅おはなしの会	青梅上成木ふれあいの森	
青梅ききみみの会	青梅の傾聴ボランティア『うさぎ』	
青梅国際友好協会	青梅子ども子育て懇談会	
青梅さとやま散歩	青梅市手話サークル	
青梅・多摩川水辺のフォーラム	青梅点訳グループ	
青梅長淵丘陵・大荷田の自然を守る会	青梅にゃんにゃんサークル「WISH」	
おうめ猫の会	青梅の図書館を考える会	
青梅の森・ひさかきの会	青梅ハッピーキャップグループ	
ブンブンの会	青梅ボランティアの会	
青梅レクリエーション研究会	青梅六平会	
小曾木っ子の会	おはなしたまご	
おはなしの会 ころりん	おもちゃの病院おうめ	
音訳ボランティアグループ たんぽぽ	霞川くらしの楽校	
勝沼城跡みどりの会	劇団たんぽぽ	
国際ソロプチミスト青梅	こころと体のケア・せせらぎ	
さざんかの会	森林ボランティア 森守会	
たけのこ文庫	多摩・梅の里自然の会	
多摩友の会青梅方面	つくしの会	
日本野鳥の会 奥多摩支部	認知症家族の会・青梅ネット	
「ねえ、本よんで!!」の会	のびのび子ども広場の会	
梅郷6丁目景観をまもる会	梅郷ボランティア・グループ	
パソコンボランティア青梅	ハッピイポケット	
ピースフル・ビーンズ	武州青梅 三田弾正 手作り甲冑隊	
フリースペース ロビンソン	マジックグループ青梅	
柚木愛郷会	ゆめなりき	
吉野山園地・愛宕山管理運営協議会	朗読音訳ボランティアグループ みすず会	
和楽倶楽部		
特定非営利活動法人 青梅運行サービス		
特定非営利活動法人 青梅音訳の会		
特定非営利活動法人 青梅こども未来		
特定非営利活動法人 青梅ファミリーサポート はあと		
特定非営利活動法人 青梅林業研究グループ		
特定非営利活動法人 かぷかぷ山のようちえん		
特定非営利活動法人 CAPS		
特定非営利活動法人 子どもステイションどんぐりやま		
特定非営利活動法人 子どもと文化のNPO子ども劇場西多摩		

特定非営利活動法人 みらいの森





新規登録団体 特定非営利活動法人どんぐりやま 子ども食堂の様子

⑧視力障害者への情報発受送事業

	利用登録者数(名)	登録施設	回数
お元気ですか(社協だより)	1 2	2施設	4回
たんぽぽだより	1 2	1施設	10回
いとでんわ	1 4	1施設	5回
声の会報(会員のみ)※	1 1	1施設	11回

[※]視力障害者の会会報(発送を受託)

⑨青梅のふくしキャラクターお~ちゃんグッズ

お~ちゃんグッズの販売

- ・お~ちゃんバッジ
- ・お~ちゃんエコバッグ (コーエイトレード)
- ・お~ちゃんポロシャツ (ワークアップ/障がい者就労継続支援B型作業所)

⑩お~ちゃん出演

行政や市民主催等の行事に「お~ちゃん」と一緒に参加し、青梅ボランティア・市民活動 センターの啓発に努めることを目的として行っている。今年度は、新型コロナウイルスの影響で依頼がなかった。

⑪お~ちゃん特殊詐欺被害防止アドバイザー就任

青梅警察署管内のキャラクター 5 体 (青梅市のゆめうめちゃん、吉野梅郷のおうめちゃん、 大多摩霊園のたまちゃん、奥多摩町のわさぴー、青梅のふくしキャラクターお~ちゃん) が、 特殊詐欺被害防止アドバイザーを委嘱された。今後、特殊詐欺被害防止のために、地域の会 合への出席やキャンペーンにおける広報啓発活動等を行う。

委嘱式

日時 令和2年10月9日(金)午後1時30分~ 場所 青梅警察署



3 助成事業

青梅市内のボランティア・市民活動の推進を図るため、ボランティア・市民活動団体に対し資金の助成を行った。

助成希望団体は、申請書で申請して選考基準に基づいて選考を行い、青梅ボランティア・ 市民活動センター運営委員会(令和2年5月書面開催)において助成対象者、助成内容およ び助成金額を決定した。

また、各種民間助成金情報をホームページと情報紙に掲載した。申請書の作成サポートや推薦文の作成等も行った。

青梅ボランティア活動等助成金助成団体一覧

	月海がノンノイノ伯勤寺切成立切成団件	見	
No	団体名	金額(円)	助成計画及び内容
1	特定非営利活動法人 子どもと文化の NPO子ども劇場西多摩	50, 000	折りたたみテーブルの購入
2	おうめ猫の会	47, 000	捕獲器、2段ゲージの購入
3	特定非営利活動法人青梅こども未来	42,000	プロジェクター・スクリーン・滑り止め付 カーペットの購入
4	青梅子ども子育て懇談会		「中学生によりよい教科書を」「Society5. 0と教育」講演会、「科学遊びの会」「おり 紙の算数・数学教室」学習会
5	和楽倶楽部	43, 000	和楽倶楽部クリスマス会イベント

計 232,000

2019年度は5団体(223,000円)へ助成

4 地域行事への参画やボランティア・市民活動団体との協働事業の実施

ボランティア・市民活動団体等と協働事業の開催

① 障害者の就労・教育相談

日時:毎月第1水曜日 午後1時~4時

会場:青梅市福祉センター

件数: 3件

相談員:白井利明氏・大澤洋子氏(カウンセラー)

主催: CAPS



② パソボラカフェ

日時:毎月第2土曜日 午後1時~3時30分

参加者:24名

共催:パソコンボランティア青梅

※新型コロナウイルス感染予防のため、5名定員の申込制になった。(10月から3名定員) $4\sim6$ 月までは中止、7月から再開し、1月~2月は中止した。なお、従来行っていたパソコン体験教室は、休止となっている。

③ 視覚障害者のためのスマホ、パソコン教室

日時:毎月1回 午後1時~3時30分

会場:青梅市福祉センター

共催:パソコンボランティア青梅



行政とボランティア・市民活動団体との協働事業の仲介

① 声の広報おうめ吹き込み事業

「広報おうめ」(毎月1日・15日に発行)の録音・ダビング・発送業務を、特定非営利活動法人青梅音訳の会が青梅市から委託を受ける仲介を行った。

② 声の市議会だより

声の市議会だよりの録音・ダビング・発送業務を、特定非営利活動法人青梅音訳の会が青梅市から委託を受ける仲介を行った。

行政とボランティア・市民活動センターとの協働事業

お~ちゃんフェスタ2020

青梅市社会福祉協議会が実施主体となり、企画から運営までを社協が実施するイベントだが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止とした。

- 日 時 令和2年9月20日(日)午前10時~午後4時
- 会場青梅市役所西側広場および市役所会議室
- 目 的 ボランティア・市民活動団体、福祉団体、施設、企業、市民が一体感を共有できる機会として、また、地域や世代を超えた交流や発表の場を創り、より一層のコミュニティーの活性化を図る。
- 内 容 ボランティア・市民活動団体、福祉団体、企業等による活動紹介・展示、模擬店、 バザー、福祉功労者の表彰、フリーマーケット
- 主 催 青梅市・青梅市社会福祉協議会

各種委員会への職員派遣

① 青梅市協働事業市民推進委員会

青梅市における市民活動団体との協働事業の推進に関する指針にもとづき協働の在り方 や協働事業の実施結果等について市民等に意見を求めるために設置した委員会に職員を派 遣した。

但した。		Ţ
口	日時・場所	内 容
第1回	令和2年5月	①あいさつ
		②青梅市協働事業市民推進委員会について
		③青梅市市民提案協働事業について
	※新型コロナウイルス感染拡大	④令和2年度市民提案協働事業応募状況
	防止の観点より、書面で開催	⑤NPO・市民活動団体アンケート調査結果
		⑥市民提案協働事業審査委員の選出
		⑦令和2年度市民提案協働事業スケジュール
審査	令和2年7月15日(水)	①令和元年度事業報告会・総評
	午後2時~	②令和2年度第二次審査・公開プレゼンテーショ
	市役所2階	ン (3事業)
	204~206会議室	③審査委員会
第2回	令和2年11月2日(月)	①令和2年度市民提案協働事業採択結果および
	午後2時~	進捗状況について
	市役所2階	②令和元(平成31)年度協働事業の評価につい
	206会議室	7

② 青梅の森運営協議会設置委員会

市民の貴重な財産である青梅の森および永山公園等周辺地域において、主体的な保全活動等を行う個人・団体を支援し円滑に活動すること、また青梅の森等について、保全活動等利用する団体を中心に青梅市と協働で事業運営を行い新たな市民文化を創造することを目的とした「青梅の森運営協議会」を推進するために職員を派遣する。

口	日時・場所	内 容
第1回	令和2年12月2日(月)	①青梅の森運営協議会委員の交代について
	※新型コロナウイルス感染拡大	②令和2年度青梅の森事業計画について
	防止の観点より、書面で開催	③青梅の森杣保プロジェクト協働事業
		④令和2年度第1回青梅の森・杣保プロジェク
		トの開催結果
		⑤青梅の森蛍調査結果
		⑥青梅の森施設整備等の実施状況
		⑦青梅の森「カシノナガクキイムシによるナラ
		枯れ」について
		⑧CSFウイルス (旧称豚コレラ) 経口ワクチン散
		布について

第2回	令和3年3月25日(木)	①令和2年度青梅の森事業の進捗状況について
	※新型コロナウイルス感染拡大	②青梅の森運営協議会委員の再任について
	防止の観点より、書面で開催	③令和3年度青梅の森杣保プロジェクト各団体
		の年間活動計画について
		④青梅の森杣保プロジェクト協働事業「北谷津
		湿地整備第2次中期計画」(案)について

③ 子どもふれあいフェスタ2020実行委員会

青梅市役所において、子育て中の親子と小・中学生を対象に、市内子育て関連NPO法人を中心に青梅市と協働で事業運営を行い、地域の支え合いによる子育て機能の充実を図ることを目的とするフェスティバルの実施に向けた実行委員会に職員を派遣した。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場による実施を中止し、令和3年2月7日(日)から令和3年2月14日(日)まで動画配信を行った。

口	日時・場所	内 容
第1回	令和2年7月10日(金)	①各部署・団体から
	午後13時30分~	②青梅市子ども関連NPO団体連絡協議会の
	青梅市福祉センター	立ち上げ
	第4集会室	③子どもふれあいフェスタ2020について
		④今後の予定

④ 区市町村ボランティア・市民活動推進事務局連絡会議

<u> </u>	1414, 7 5 7 4 7 H1P(1113)1E	色事物的是相互概
口	日時・場所	内 容
第1回	令和2年4月30日(木)	①2020年度東京ボランティア・市民活動センタ
		ーの体制・事業方針について
		②東京ボランティア・市民活動センターより報告
		③意見交換
	※新型コロナウイルス感染症	「区市町村ボランティア・市民活動センター
	拡大予防のため、書面開催	新規事業・重点事業」
第2回	令和2年7月31日(金)	①令和2年7月豪雨について
	午後3時~5時	②新型コロナウイルス関連情報
		③意見交換「新型コロナウイルスの中での
	※オンライン出席	ボランティアコーディネーション等について」

第3回	令和2年10月16日(金)	①災害ボランティアセンターに対する災害救助費
	午後3時~5時	負担について
		②南多摩ブロック災害協定について
	<u>※オンライン出席</u>	③災害時におけるボランティア保険について
		④意見交換「オンラインなどを活用したボランティ
		ア・市民活動の講座・イベントの実施について」
第4回	令和3年1月21日(木)	①情報提供
	午後3時~5時	②意見交換「これからのボランティア・市民活動の
		推進における情報共有・発信のあり方について」
	<u>※オンライン出席</u>	

⑤ 区市町村ボランティア・市民活動推進機関災害担当者会議

□	日時・場所	内 容
第1回	令和2年4月30日(木)	①東京ボランティア・市民活動センター2020年度災害ボランティア事業計画
		②新型コロナウイルス感染防止下における災害ボ
	 ※新型コロナウイルス感染症	ランティア活動について ③東京環境局からの情報提供
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	④2020年度都内区市町村ボランティアセンターのブロック域・各センターの取組みについて
第2回	令和2年度区市町村災害時ボラ	ンティア担当者会議として開催(⑫に記載)

⑥ 夏の体験ボランティア・キャンペーン2020連絡会

口	日時・場所	内 容
第1回	令和2年4月30日(木)	①夏の体験ボランティア・キャンペーン2020に
		ついて (キャンペーン中止)
		②中止に伴う東京ボランティア・市民活動センター
		による広報協力の変更
		③区市町村センターを対象として事前アンケート
	※新型コロナウイルス感染症	調査の結果概要
	拡大予防のため、書面開催	④東京ボランティア・市民活動センターによる受
		け入れ団体アンケート調査の結果概要
第2回	令和2年10月16日(金)	①夏のボランティア体験事業の実施状況報告
	午後3時~5時	②情報交換会
		・コロナ禍でのボランティア活動状況
	<u>※オンライン出席</u>	・リモートボランティアの可能性

⑦ 区市町村ボランティア・市民活動センター長会議

No No	日時・場所	内 容
第1回	令和2年6月18日(木)	①ボランティア保険について
	午後3時~5時	②東京ボランティア・市民活動センターの今後の事
		業予定について
		③「未来の豊かな"つながり"のための全国アクシ
		ョン」について
	※オンライン出席	④新型コロナウイルスの中での都内ボランティア・
		市民活動センターの取組みについて
第2回	令和2年9月11日(金)	※運営委員・センター長合同会議
	午後3時~5時30分	①都内ボランティアセンター運営委員会の設置・運
		営状況
		②まちあるきバーチャルツアーの報告
		③パネルディスカッション
		「新型コロナウイルス感染防止!みんな、居場所の
	※オンライン出席	対策どうしてる?」
		④グループワーク
第3回	令和2年12月10日(木)	①中間支援組織スタッフのための支援力アップ事
	午後3時~5時	業女性のご案内
		②ボランタリーフォーラムTOKY02021
		③ボランティア・市民活動支援総合基金「ゆめ応援
		ファンド」女性・特別助成
	※オンライン出席	④ 「新型コロナの影響を踏まえたボランティア・市
		民活動センターの今後の方針と事業について」~新
		型コロナでつながりが希薄になりがちな今だから
		こそ、考えておきたいボランティア・市民活動セン
		ターの意義と取組み~
第4回	令和3年2月18日(木)	①福島県沖の地震について
	午後3時~5時	②東京都災害ボランティアセンターアクションプ
		ラン推進会議 新団体設立について
		③震災10年企画voicefrom3.11について
	※オンライン出席	④ボランタリーフォーラムTOKY02021
		⑤東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会
		ボランティアレガシーネットワークについて
		⑥ボランティアセンター運営委員会の設置・運営状
		況等について
		⑦今年度の事業の振り返りおよび次年度の取組み
		について
	1	

⑧ 社協西多摩ブロックボランティア担当者連絡会議

	1. 四百多年ノーフノバフンテイナ 15日 1日		
口	日時・場所	内 容	
第1回	令和2年5月28日(木)	①コロナウイルス感染拡大に伴う自粛期間での各	
	午後2時~4時	社協の取り組みについて	
		②今年度の共同事業の実施について	
	ZOOMによるオンライン会議	③その他	
第2回	令和2年10月7日(水)	①コロナ禍における西ブロ各社協での取り組みに	
	午後2時~4時	ついて	
		②今年度の共同事業の実施について	
	ZOOMによるオンライン会議	③歳末による地域福祉活動費の使用状況について	
		(令和2年度分使用)	
		④その他	
第3回	令和2年11月10日(火)	①事業実施状況について	
	午前10時~午後12時	②災害ボラセン関係について	
		③その他	
	ZOOMによるオンライン会議		

⑨ ボランティア保険等説明会

【令和2年度】

日時 令和2年7月21日(火)午前10時30分~午後12時

会場 ZOOMによるオンライン会議

内容 ①新型コロナウイルス感染症の取扱いについて

- ②令和3年度ボランティア保険料について
- ③ボランティア保険の災害時のWEB加入システム構築について

【令和3年度】

日時 令和3年2月18日 (木) 午前10時~午前11時30分

会場 ZOOMによるオンライン会議

内容 ①令和3年度ボランティア保険・行事保険の概要・留意事項

- ②ボランティア保険の現況、事故の状況について
- ③事前質問の回答

⑩ 「夏のリモートボランティア2020」報告会

日時 令和3年11月27日(金)午後3時30分~5時

会場 ZOOMによるオンライン会議

内容 ①「夏のリモートボランティア2020」実践報告

- ②各プログラムの報告
- ③意見交換

① 青梅市総合防災訓練

日時 令和3年11月29日(日)午前8時~10時

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

② 令和2年度区市町村災害時ボランティア担当者会議

日時 令和2年12月18日(金)午後2時~4時

会場 ZOOMによるオンライン会議

内容 ①コロナ禍における災害ボランティアセンターの取組みの報告

- ②新型コロナウイルス感染拡大防止下における 災害ボランティアセンターの設置・運営の考え方ガイドライン
- ③情報提供・災害ボランティアセンターにかかる経費について
- ④行政と社会福祉協議会・NPOとの意見交換

⑬ ボランタリーフォーラム2021実行委員

ボランタリーフォーラムは市民の暮らしに関わる様々な社会問題に焦点をあて、それを共有し、市民にできることを考えていくためのイベント。東京ボランティア・市民活動センターが事務局となり、ボランティア団体や福祉団体職員等が参加して運営している実行委員会に職員を派遣した。

<u>今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止ため、会場型とオンライン型のハイブリッドに</u>よる開催となった。

実行委員会

大11安貝云		
口	日時・場所	内 容
第1回	令和2年7月14日(火)	①自己紹介
	午後7時~9時	②ボランタリーフォーラムについて
		③正副実行委員長選出
	ZOOMによるオンライン会議	④今気になること・VFで共有したい社会課題
		⑤分科会ワークシートの書き方について
the o	A T. O P. O P. O P. (1)	0.000 0.000
第2回	令和2年8月6日(木)	①分科会案について
	午後7時~9時	②部会について
	ZOOMによるオンライン会議	③事務連絡
第3回	令和2年9月5日(土)	①第2回内容の振り返り・第3回進行確認
	午後1時30分~5時	②分科会案発表・意見出し
	大学生協杉並会館5階	③部会
	※オンライン出席	④事務連絡・今後の流れ
第4回	令和2年9月25日(金)	①第3回内容の振り返り・第4回進行確認
	午後7時~9時	②VF2021の開催方法について
	ZOOMによるオンライン会議	③分科会案について
		④全体テーマについて
		⑤部会について
		⑥事務連絡

<i>bb</i> : = :::	A = 0 = 1 0 = 1 ()	
第5回	令和2年10月13日(火)	①第4回内容の振り返り・第5回進行確認
	午後7時~9時	②全体テーマについて
	<u>※</u> オンライン出席	③分科会案について
		④部会について
		⑤事務連絡
第6回	令和2年11月5日(木)	①第5回内容の振り返り・第6回進行確認
	午後7時~9時	②パンフレットについて
	※オンライン出席	③入金システムとコロナ禍での開催検討
		事務局案について
		④分科会案について
		⑤部会について
		⑥事務連絡
第7回	令和2年12月1日(火)	①第6回内容の振り返り・第7回進行確認
	午後7時~9時	②パンフレットについて
	※オンライン出席	③開催に関しての検討事項について
		④分科会案について
		⑤部会について
		⑥事務連絡
第8回	令和2年12月18日(金)	①第7回内容の振り返り・第8回進行確認
	午後7時~9時	②事務連絡①
	※オンライン出席	②分科会について
		③部会について
		④事務連絡②
第9回	令和3年1月29日(金)	①第8回内容の振り返り・第9回進行確認
	午後7時~9時	②フォーラム運営マニュアルについて(案)
	ZOOMによるオンライン会議	③部会からの報告
		④部会について
		⑤事務連絡
実施当	令和3年2月12日(金)~	ボランタリーフォーラム2020
日	14日(日)	分科会、オンラインカフェ、ふれあい満点市場、
	飯田橋セントラルプラザ	クロージング
	※オンライン出席	
第10	令和3年3月18日(木)	①報告(マーケティング部会より)
回	午後7時~9時	②振り返り・ニーズの確認
	ZOOMによるオンライン会議	③部会の持ち方
		④ 報告書
		⑤その他

職員の資質向上のための研修

① 市民活動推進課情報交換会

No	大佔男推進採情報交換云 	内 容
第1回	令和2年4月30日(木)	①令和2年度運営費補助金について
	午後2時~	②令和2年度市民提案協働事業について
		③青梅ボランティア・市民活動センターからの報告事項
第2回	令和2年5月27日(水)	①市民提案協働事業
	午後2時~	事業報告会および第二次審査について
		②令和元年度市民等との協働事業評価シート
		③青梅ボランティア・市民活動センターからの報告事項
第3回	令和2年6月30日(火)	①市民提案事業について
	午後2時~	②青梅ボランティア・市民活動センターからの報告事項
第4回	令和2年7月28日(火)	①市民活動団体向け研修・職員向け
	午後2時~	②市民活動団体補助金
		③青梅ボランティア・市民活動センターからの報告事項
第5回	令和2年8月27日(木)	①市民活動団体向け研修・職員向け
	午後2時~	②市民活動団体補助金
		③青梅ボランティア・市民活動センターからの報告事項
第6回	令和2年10月2日(金)	①市民活動団体向け研修・職員向け
	午後2時~	②市民活動団体等新型コロナ感染症対策補助金
		③災害ボランティアセンター設置について
		④令和3年度予算について
		⑤青梅ボランティア・市民活動センターからの報告事項
第7回	令和2年10月27日(火)	①市民活動団体向け支援講座について
	午後2時~	②協働推進員の研修について
		③青梅ボランティア・市民活動センターからの報告事項
第8回	令和2年11月24日(火)	①協働事業推進員の研修について
	午後2時~	②市民団体向け研修について
		③青梅ボランティア・市民活動センターからの報告事項
第9回	令和2年12月15日(火)	①協働事業推進員・市民活動団体の合同研修について
	午後2時~	②青梅ボランティア・市民活動センターからの報告事項
第10回	令和3年1月25日(月)	①協働事業推進員・市民活動団体の合同研修について
	午後2時~	→緊急事態宣言により中止
		②市民活動団体等新型コロナ感染症対策補助金
		→受付延長
		③青梅ボランティア・市民活動センターからの報告事項

第11回	令和3年2月26日(金)	①協働事業市民推進員(推薦・公募)について
	午後2時~	②青梅ボランティア・市民活動センターからの報告事項
第12回	令和3年3月25日(木)	①令和3年4月1日付人事異動について
	午後2時~	②実績報告書の提出について
		③協働事業市民推進委員推薦について
		④市民提案協働事業4月1日~募集
		⑤お~ちゃんフェスタについて
		⑥青梅ボランティア・市民活動センターからの報告事項

会場:ボランティアセンター

② 新型コロナウイルス感染対策オンライン勉強会

新型コロナウイルスの影響が続くなか、さまざまな人が訪れ交流する「地域の居場所」では、感染リスクをどのように避け、実りある活動が出来るのか、多くの団体が試行錯誤している。この勉強会では、薬粧連合の方を講師にお迎えし、手洗いや手指の消毒、室内や物品の衛生管理など基本をあらためて学んだ。後半のグループワークでは事例をもとに、見落としがちな居場所の感染リスクについて意見を出し合った。

日時 令和2年9月15日(火)午後3時~4時30分

会場 ZOOMによるオンライン会議

内容 ①地域における感染症予防対策の基礎知識

②グループ討議

5 ボランティア・市民活動推進事業

①青梅市内福祉施設一芸ボランティア

市内には多くの老人ホームやデイサービスセンター、高齢者が長期入院している病院などがある。その多くの施設が定期的に誕生日会や敬老の日のお祝いなどの行事で催し物のボランティアを募集している。ボランティアが持っている芸を披露することにより、施設で生活されている利用者の方の楽しみと生きがいづくり、またボランティアと施設利用者の交流を図る。市民の持つ技能を発表する場の提供を行い、ボランティア活動の普及を目的とする。当センターのホームページ上に一芸ボランティアのページを作成し、公開している。

青梅一芸ボランティア登録者・団体

登録者(団体)数 12(登録辞退2団体)

〈敬称略〉

No	氏名(団体名)	内 容
1	ゆぎ舞踊会	舞踊、お座敷芸、マジック、歌
2	磯部 賢次	腹話術
3	アンサンブル二胡里	二胡演奏

4	ハイビスカスグループ	フラダンス
5	青梅かっぽれ梅雀会	かっぽれ、新舞踊
6	華音(かのん)	オカリナ、ピアノ演奏
7	劇団「たんぽぽ」	演劇
8	紀乃実会	日本舞踊、新舞踊
9	江戸芸かっぽれ 青梅道場	伝統おどり かっぽれ・奴さん
1 0	ミュージックベルサークル「流音」	ミュージックベルの演奏
1 1	アンサンブルアミタ	バイオリン、ギター、リコーダー、
		ハーモニカ等の演奏
1 2	くにたっちミニ	ウクレレの演奏と口笛

2019年度登録者(団体)数 14

② 学校のボランティア体験学習支援

市内小中学校等からの依頼に対応し、また必要な場合においては各団体へつなげた。

学校名	内 容	期日	学年・人数
吹上小学校	高齢者体験・アイマスク体験		
	(体験セット貸出のみ)		
第七中学校	聴覚障害について学ぶ	11月26日 (木)	2年生・16名

③ 夏!体験ボランティア

1980年より青年層のボランティア活動への参加促進を図るために、東京都の補助事業として、東京都ボランティア・市民活動センターと各市区町村ボランティアセンターが提携し、関係機関・団体の支援を受けながら実施している。

参加者は、福祉・医療・保健・環境保護等の様々なボランティア体験を通して、社会への 関心を深め、積極的に社会づくりに参加することの意義を学んでいる。また、自分の生き方 やいのちの尊さを見つめる機会にもなっている。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため中止とした。

④ 青梅ボランティア・市民活動団体全体会議

※新型コロナウイルスの影響で中止、登録団体へ資料を発送

- 日 時 令和3年3月25日(木)午前10時~12時
- 場 所 青梅市福祉センター
- 内容 ①2021年度青梅ボランティア・市民活動センター事業計画
 - ②お~ちゃんフェスタ2021について
 - ③連絡事項
 - ④グループワーク〈情報交換〉

⑤ 使用済み切手等の回収運動

誰もが気軽にできるボランティア活動として、使用済み切手、ベルマーク、使用済みプリペイドカードの回収を通じてボランティア活動が身近なものであることを市民に呼びかけた。

使用済み切手・使用済みプリペイドカード等は、聖明園へ、ベルマークは青梅学園で活用 した。

寄付品	件数	2019年度
使用済み切手	4 0 9	468
ベルマーク	1 2 1	1 4 4
使用済みプリペイドカード	2 6	2 2



切手整理ボランティア つくしの会

⑥ 夏休み企画 青梅おばけやしき

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、外出自粛や突然の休校など子ども達はいつも通りの生活ができない状況であり、また夏休みは例年より短く、旅行やレジャーへ出かけることも難しい状況で、子ども達の心に少なからずストレスがかかっていた。

そのような状況の中、当センターは子ども達に楽しく過ごせる時間を提供し、夏の思い出作りの一翼を担うべく、福祉センターを会場とした青梅おばけやしきを開催した。

- 1. 日時 令和2年8月14日(金)午後5時40分~午後8時 ※5分ごとに1組ずつ案内、ルートを回る
- 2. 申込み・参加者数

【申込み】39組130名(二小22組・四小17組)

【参加】29組 93名(二小19組・四小10組)※1組当日欠席

3. ルート

①受付(福祉センターロビー)⇒②旧高齢者センター(チェックポイント1)⇒③地下ボイラー室(チェックポイント2)⇒④4階写真室⇒⑤チャペル(チェックポイント3)

4. 当日スタッフ

青梅ボランティア・市民活動センター運営委員 8名 青梅ボランティア・市民活動センター・社協職員 7名 計15名

5. その他

- ・対象校 (二小・四小) の $1\sim3$ 年生へ、学校の協力をいただきチラシを個別配布した。 (二小303枚・四小181枚 計484枚)
- ・当日は多摩ケーブルネットワークが取材に来た。また、西の風新聞社に記事が8月20日に掲載された。
- ・参加者に、写真室で撮影した写真と各チェックポイントで記入したカードをお礼状とと もに送付した。



⑦ おーチャンネル開設・動画配信

コロナ禍で各種イベントや講習会等が出来ない中で、センターから現状に即した形で情報発信をすべく動画を制作した。YouTubeに「おーチャンネル」を開設して配信した。

今年度配信した動画

タイトル	内容
お~ちゃんの塩船観音初詣2021	コロナ禍で初詣に行けない方に向けて、お~ちゃんが
	市内にある塩船観音を紹介しながら参拝
お~ちゃんが青梅ボラセンを紹介	青梅ボランティア・市民活動センターを知ってもらう
	べく、センターの場所から事業内容まで紹介
お~ちゃん誕生のひみつ	青梅のふくしキャラクターお~ちゃんは、どのように
	誕生したのか、全貌を明らかにした動画
STOP!特殊詐欺被害	後を絶たない特殊詐欺被害に対し、青梅警察署・青梅信
	用金庫・西東京農業協同組合の協力を受け、被害防止啓
	発動画を作成した。青梅警察署のロビーでも放映





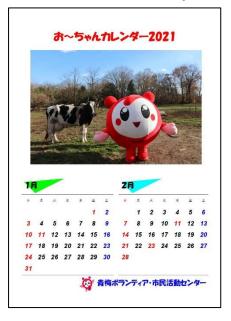




⑦ お~ちゃんカレンダー作成

新型コロナウイルス感染症の拡大で、外出を控え家で過ごす機会が多くなった。そのような中で、家にいてもダウンロードで手軽に手にできるお~ちゃんカレンダーを作製した。

2021年1月から2か月ごとに作製し、当センターホームページで掲載し、アクセスしていただくきっかけにもなった。





⑧ Zoom体験講座

コロナ禍で注目されているオンラインによる会議や交流。各地域で、ボランティア活動 にも取り入れられるようになってきている。当センターでもオンラインによるボランティア活動を検討し、まずは市民に zoomを使用したオンライン体験講座を実施した。

日 時 1回目:12月2日(水)・2回目:12月7日(金) ※両日とも午後2時~3時で同内容

会 場 自宅もしくは福祉センター

定 員 各日先着5名(うち福祉センター受講は2名まで)

参加者 計10名

内容 ①Zoomの基本操作・応用機能の説明(手を挙げる、チャット機能等)

- ②参加者自己紹介
- ③質疑応答、記念撮影

その他 事前説明会 12月1日(火)午前11時~ 自宅参加者3名参加







6 市民活動に向けた基盤整備

ボランティア・市民活動センターが機能するには、環境整備も重要である。さまざまな人が自然に集まることによって、センターとしても豊かなプログラム、ネットワークづくりの基礎となる。

なお、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発令に伴い、4月8日から6月19日までの期間、青梅市福祉センターおよび市内各市民センターが利用中止となった。利用再開後(6/20~)は、定員の1/2で貸出を行っている。会議室については換気が出来ないため、貸出不可とした。

ふれあいサロン利用状況(定員20名※利用再開後は10名)

	午	前	午	後	夜	間	合計		
月	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	
4	0	0	7	1	0	0	7	1	
5	0	0	0	0	0	0	0	0	
6	18	3	6	2	0	0	24	5	
7	55	9	49	10	0	0	104	19	
8	36	8	49	9	0	0	85	17	
9	49	10	45	9	0	0	94	19	
1 0	67	12	66	12	7	1	140	25	
1 1	105	16	103	16	6	1	214	33	
1 2	114	17	58	10	0	0	172	27	
1	53	11	29	6	0	0	82	17	
2	65	14	42	9	0	0	107	23	
3	45	8	82	15	10	1	137	24	
合計	607	108	536	99	23	3	1166	210	

※2019年度は、2,451名245件

会議室利用状況(定員10名※利用再開後、貸出中止)

	午	前	午後		夜間		合計	
月	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数
4	13	2	22	3	0	0	35	5
合計	13	2	22	3	0	0	35	5

※2019年度は、827名155件

福祉センター会議室等のボランティア・市民活動団体使用状況※利用再開後、和室貸出中止

	午	前	午	後	夜	間	計	+
	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数
集会室	1,843	171	1,418	142	568	48	3, 829	361
和室	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	1,843	171	1, 418	142	568	48	3, 829	361
2019年度	3, 883	223	3, 776	250	2, 457	138	10, 116	611

機材貸し出し状況

活動機材を整備し、ボランティア・市民活動を援助した。

機材	件 数
プロジェクター	55
スクリーン	62
テレビ・ビデオ・DVD	1
ポップコーン機	1
綿菓子機	2
テント	0
高齢者疑似体験	2
発電機	0
焼きそば機	0
たこ焼き機	0
餅つきセット	2
かき氷機	2

- ※ プロジェクターは100円徴収
- ※ 発電機・焼きそば機・たこ焼き機の燃料は使用者負担

フルカラー印刷機

多くのボランティア・市民活動団体が広報紙やポスターなどの作成に活用した。

料金: A4 カラー 1枚10円、単色 1枚3円

A3 カラー 1枚20円、単色 1枚6円

ロッカー、メールボックスの貸し出し

青梅ボランティア・市民活動センター登録団体が、活動に使用するロッカー、メールボックスの貸出しを行った。 (使用料無料)

ロッカー 23団体(2019年度は、26団体)

メールボックス 13団体(2019年度は、14団体)





7 ボランティア保険、行事保険の加入受付

国内におけるボランティア活動中の偶発な事故により、ボランティア自身がケガをした場合の「傷害保険」とボランティア自身が活動の対象者など他人の身体や財物、または名誉毀損・プライバシー侵害等により損害を与え、法律上の賠償責任を負った場合の「賠償責任保険」の2つの補償をセットにした、「ボランティア保険」と、福祉活動などの様々な行事における事故を補償する「行事保険」の受け付け事務を行った。

東京都社会福祉協議会と全国社会福祉協議会のそれぞれの保険を取り扱っている。

ボランティア・行事保険加入状況

プラン		A	В	С	天	災	合	計	行事	保険
扱い	全	東	東	東	東	全	東	全	件	数
保険料	350 円	300 円	500 円	700 円					全	東
4月	22	67	32	1	1	140	101	162	0	0
5月	136	13	0	1	0	447	14	583	0	0
6月	14	1	0	0	1	0	2	14	0	0
7月	10	35	14	12	14	1	75	11	0	0
8月	0	14	10	0	1	2	25	2	0	1
9月	22	3	5	2	1	3	11	25	1	1
10月	46	2	1	2	0	58	5	104	1	3
11月	1	3	0	1	0	0	4	1	0	5
12月	1	1	0	1	0	1	2	2	0	6
1月	0	0	0	1	0	1	1	1	0	3
2月	0	4	0	0	0	0	4	0	0	2
3月	0	0	0	2	0	0	2	0	0	1
合計	252	143	62	23	18	653	246	905	2	22

[※]全→全国社会福祉協議会、東→東京都社会福祉協議会

²⁰¹⁹年度は、ボランティア保険1,319名、行事保険66件

8 いきいきサービス事業

65歳以上もしくは障がいをお持ちの方の在宅生活を支援するため、市民の方々の参加と協力をいただいて、家事サービスの提供を行った。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月13日~5月末までサービスの提供を休止した。6月から再開したが、利用回数・時間を減らしてのサービス提供とし、通院の付き添い・薬取りのサービスについてはセンター職員で対応した。

利用会員登録者数 190名 (183名) 協力会員登録者数 124名 (120名) 家事サービス 延べ2,246回 3,058時間

(延べ3,882回 6502.5時間)

料金 (1時間) 900円(税込)

※() は2019年度



9 ふれあい大掃除サービス事業

ひとり暮らし高齢者、高齢者世帯に協力員を派遣して大掃除の手伝いを提供し、気持ちの 良い年末年始を迎えられるようにする。また大掃除を通して、利用者と協力員のふれあいを 目的としている。新型コロナウイルス感染拡大予防のため、中止とした。

10 学習サポート事業

経済的に困窮している世帯の自立促進、貧困の連鎖の防止を目的に、該当世帯に対して学習支援を実施し基礎学力の向上を図るとともに、保護者に対しては、進学に必要な情報提供養育に関する相談支援を行った。今年度から、対象学年を小学3年生から中学3年生までに拡大した。(青梅市からの委託事業)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、 $5月\sim6$ 月末までサポーターの派遣を休止した。

相談件数 15件(17件)

実施件数 16件、延べ286回(14件、延べ282回)

学習サポーター登録者 24名 (17名)

※()は2019年度

学習サポーター打合せ会議

※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、全て書面による開催とした。

第1回

日時 令和2年4月23日(木)

内容 ①学習サポーター新規登録者紹介

- ②令和元年度学習サポート事業活動報告
- ③学習支援サポーターの担当について
- ④新型コロナウイルス対策について

第2回

日時 令和3年3月19日(金)

内容 ①経過報告

- ②進路決定状況について
- ③新型コロナウイルス感染対策について
- ④事務局からの連絡事項



主任学習支援員 山森健吉先生

11 災害支援

青梅ボランティア・市民活動センター窓口募金

青梅ボランティア・市民活動センターの窓口にて募金箱を設置し、市民に広く募金を呼びかけた。

①令和元年台風19号千葉県災害義援金募金

募集期間 令和元年10月~令和2年7月

募金金額 3,786円

②令和2年7月豪雨災害義援金募金

募集期間 令和2年7月~現在

12 コロナ禍におけるセンターの運営状況について

新型コロナウイルス感染症が拡大を続けた3月以降は、当センター事業及び当センター登録団体の活動は制限を余儀なくされた。4月7日の緊急事態宣言後、市内市民センター及び福祉センター貸会議室等も使用中止となった中で、当センターの運営について報告する。

① 中止·休止事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記の事業を中止・休止とした。

- 1. 夏体験ボランティア (7~8月)
- 2. お~ちゃんフェスタ2020 (9月20日)
- 3. いきいきサービス (4月13日~5月末まで休止、6月から再開)
- 4. 青梅学習サポート事業 (5月~6月まで休止、7月から再開※3月~4月は移行期間 のため例年休止)

- 5. ふれあい大掃除サービス事業(11月)
- 6. ボランティア・市民活動団体全体会議 (3月25日)

② 緊急小口資金・総合支援資金貸付事業へ応援

新型コロナウイルス感染症の影響により休業・失業し収入が減少した世帯に対し、生活費の貸付を2020年3月末から行っている。この制度は国の制度で、都道府県社協が行い、市区町村社協が受付窓口となっている。青梅市社会福祉協議会では、貸付事業については総務課で行っているが、今回の新型コロナウイルス感染症の影響による貸付については申請者の数が多く、5月と10月に貸付専属の職員を増員したが総務課のみでは対応できないため、当センターの職員も対応した。

当初の予定では申請は7月までの予定だったが、国が9月末まで延長を決定した。9月末には、12月末まで延長、12月末には2021年3月末まで延長、3月末には6月末までの延長が決定している。

緊急小口・総合支援資金貸付の月別対応数

	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
	貸付申請数	センター職員申請対応数
	(緊急小口・総合支援資金・	(電話・来所対応数)
	総合支援資金延長)	
4月※	115件	46件(92件)
5月	241件	74件(190件)
6月	283件	129件(265件)
7月	255件	74件(156件)
8月	191件	69件(171件)
9月	234件	93件(227件)
10月	179件	29件(138件)
11月	175件	23件(123件)
12月	150件	15件(59件)
1月	109件	3件(55件)
2月	234件	37件(227件)
3月	466件	105件(290件)
計	2,632件	697件(1,993件)

※4月13日~30日の期間

③ 新型コロナウイルスに留意して新たに実施した事業

- ・夏休み企画 青梅おばけやしき ※詳細については20ページに記載
- ・おーチャンネル開設・動画配信 ※詳細については、21ページに記載
- ・お~ちゃんカレンダー作成 ※詳細については、22ページに記載
- Zoom体験講座 ※詳細については、22ページに記載